

▶▶福島県昭和村

築80年の木造廃校舎を
人が集う拠点へ

昭和12年に建築された旧喰丸小学校は、自然に囲まれた木造校舎です。昭和55年に廃校後、幾度と解体の危機に直面しましたが、昔からの精神性を守り伝える「学びの場」として、また、村の方々が集まって楽しい一時を過ごす「交流の場」として、さらには、自然に囲まれた木造校舎に安らぎと癒しを感じる「観光スポット」としての校舎の保存・活用が決定されました。

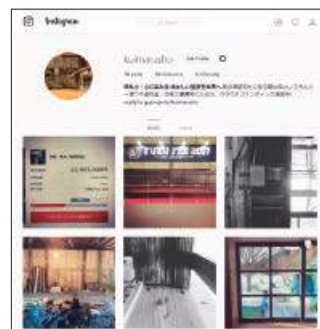
しかし、校舎の改修費や改修後の管理運営費が多額となることから、これらの費用の一部を

クラウドファンディング型のふるさと納税で募りました。

募集に当たっては、ふるさと納税が集まるようホームページやSNSによる定期的な情報発信を行うとともに、寄附者には進捗状況を報告しました。



改修工事中の校舎



SNSによる進捗状況報告

注力した点や工夫した点

木造校舎への愛着の強い高齢者の方々が、意思決定から実際の寄附までの流れを円滑にできるよう、Fax 申込用紙や郵便局の専用払込用紙を用意しました。

Check

取組の効果

ふるさと納税により、当初見込んでいた改修工事費等の財源を確保し、施設のオープンを円滑に進めることができました。

また、地元報道機関等で取り上げられ、資金の調達のみならず、村や小学校の効果的なPRとなりました。

ふるさと納税をきっかけとした寄附者とのつながりを、今後の運

営資金の調達や観光誘客等へも生かすことができると期待しています。



改修前の校舎でのイベントの様子



オンライン対応も踏まえた募集チラシ

寄附者の声



・村の皆様が校舎を残そうという選択をされたことに感動しました。

住民の声



・多くのふるさと納税が集まったことで、喰丸小を地域の宝として再認識することができました。